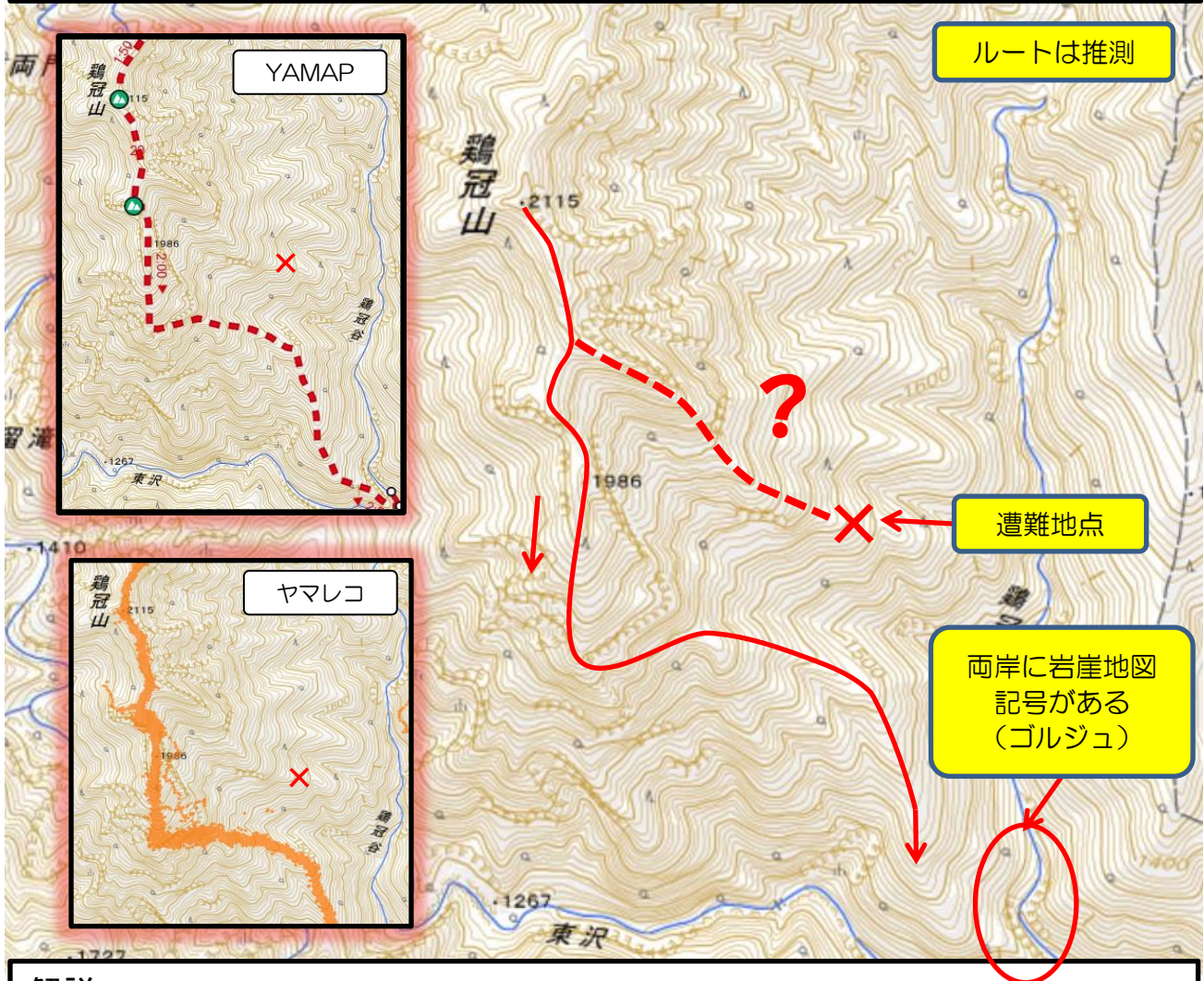


## 鶏冠山遭難(2019年10月)

30歳代、40歳代2名。下山中、道に迷いビバーク。寒さに耐えかねて救助要請。



## 解説

道迷いのしやすい三大地形の一つに下山時の尾根分岐がある。今回の事例は、手前の東の尾根を下ってしまったために道迷いに陥ったものと考えられる。

YAMAPでは波線になっているためルートはバリエーションに近く分かりづらいと思われる。このため道が不明瞭でも「あれっ？おかしい？」とは思わずどんどん下ってしまった可能性は否定できない。

「ビバーク後、寒さに耐えかねて救助要請をおこなった」とあるので、冷静な判断ができなかったのではないだろうか。仮に、このまま下ったとしたら、鶏冠谷はゴルジュがあるので、より危険な状況になっていた可能性は大きい。

「あれっ？おかしい？」と思った場合、「来た道に戻る以外に解決方法はない。」と強く思ってもらいたい。来た道をもどるのか？そのまま進むのか？「道迷い」と「遭難」のターニングポイントである。地図アプリで現在位置を確認し、これからどのように行動するのがよいのか？何が正しいのか？冷静な判断をするためには、休憩を取り、食事や水分補給をして落ち着いてから判断するのがよいだろう。慌てて判断し、行動しても良いことは一つもない。夕方が近づくと正しい判断がしづらいのは、焦りの要因が大きい。

私は、オリエンテーリングの大会で道に迷った時はいつも「落ち着け、落ち着け……」と唱えることにしている。不思議と落ち着いてくる。